



阿見キャンパス（完成した国際交流会館）



水戸キャンパス（改装が終了した学生寄宿舍「水哉寮」）

第3代会長に就任して



茨城大学同窓会連合会会長
久保田 益充

平成22年10月の第5回茨城大学同窓会連合会総会において、堀川賢壽前会長の後任として会長に指名されました理学部同窓会会長の久保田益充でございます。はなはだ微力ではありますが皆様のご支援をいただきまして、2年の任期を茨城大学の発展のためにお役に立てることができればと願っております。

茨城大学は、平成16年4月からは国立大学法人として、社会に大きく貢献できる学生を育むためばかりではなく地域から信頼され頼りにされる大学を目指してその活動を活発化されています。そんな背景の下に全学部の同窓会に加えて職域や地域の同窓会をも含めた同窓会連合会が平成18年9月に創設され、同窓会が丸丸となって大学を支援できる体制が整いました。

同窓会連合会が真に大学を支援できる体制の第一歩は、同窓生の一人一人が茨城大学の卒業生であることを自覚し、同窓生同士がお互いに協力し助け合うことでしょう。そのためには、それぞれの同窓生同士の横のつながり、また縦のつながりを重視した活動や同窓生が同窓会の存在を実感できる活動を展開していくことでしょう。

同窓会連合会は、大学当局やそれぞれの同窓生同士の情報交換などによる連携を密にすることにより、様々な分野で大学を支援できる基盤の強化を図っていくことが重要であると考えております。会員の皆様のご積極的なご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

大学から一同窓会連合会と緊密な連帯を



茨城大学理事（事業担当）
影山 俊男

茨城大学は平成16年の法人化から7年目、現在は第2期中期目標・中期計画期間に沿って教職員一丸となって大学運営の充実にむけ邁進しているところであります。法人化に馴染む時期を経て第2期は大学運営を充実する時期、そして大学の真価が問われる時期と位置付けられます。変化する時代の先を読んで教育の質向上を図り研究をさらに深化させることはもちろんですが、「地域に頼りにされる大学」となるための基盤固めが不可欠であり、さらに地域との多様な連携を図り具体的な実績を積み上げることも必要と考えています。

昨年12月に発表された日本経済新聞社による全国大学地域貢献ランキング（全国525国公立大学）において、茨城大学は各界で活躍されている卒業生の皆様のご支援もあり第8位（前回14位）にランクされました。これまで進めてきた地域連携活動に対する評価であり大変嬉しいことです。

一方で、地域社会の一員として大学は何を目指し、どんな活動を行っているのか、法人化後の状況を積極的に広報するなど、大学運営の透明性を高める努力も重ねています。皆様には是非とも「茨城大学ホームページ」ほか様々な刊行物にも目を通していただき、大学の今を確認していただきたいと思っております。

大学を取り巻く環境はこれからますます厳しさを増すことでしょう。同窓会連合会と大学との連携がさらに望まれるところです。引き続き皆様からのご助言そして絶大なるご支援をお願いいたします。

同窓会の皆様、久しぶりにキャンパスに足を運ばれてみては如何でしょうか。いつになっても卒業生にとって大学は心の平穏を感じる拠りどころ。あの頃と変わらない空気が暖かく迎えてくれるはずですよ。

第5回茨城大学同窓会連合会総会及び懇親会を開催

平成22年10月2日（土）に茨城大学茨苑会館において、第5回茨城大学同窓会連合会総会が開催されました。

総会は、堀川会長の挨拶に始まり、議事として①平成21年度事業及び会計報告②平成22年度事業計画及び予算について③平成22～23年度役員について佐藤代表幹事及び事務局から説明があり、審議の結果、満場一致で承認されました。最後に大学より「元気な日本復活特別枠」要望に関するパブリックコメントについて、山本理事より説明があり同窓会の全面的な協力をお願いし、出席者全員に理解いただき

きました。

また、12時からは会場を茨苑会館「SHIEN」に移し、懇親会が開催され、新会長及び新代表幹事のもとに茨城大学同窓会連合会、各学部同窓会、職域・地域同窓会及び茨城大学の関係者が約40名ほど出席し、茨城大学からの近況報告や各学部同窓会及び職域・地域同窓会からの活動報告など、終始和やかな中で情報交換を図ることができました。

最後は、参加者全員で茨城大学校歌を斉唱し、今後も同窓会と大学が密接な連携を保ちながら、活動していくことを祈念して閉会となりました。

平成21年度茨城大学同窓会連合会事業報告

年月日	事業項目	開催場所等	内容
H21/9/26(土)	第4回同窓会連合会総会	茨苑会館	
H21/12/3(木)	第10回同窓会連合会幹事会	事務局第2会議室	①会報（第4号）の発行について ②同窓会連合会第4回総会報告について
H22/2/15(月)	同窓会連合会会報「第4号」発行	事務局（総務課）	5,500部
H22/6/9(水)	第11回同窓会連合会幹事会	事務局第2会議室	同窓会連合会事業活動について
H22/6/29(火)	茨城大学役員と同窓会連合会との懇談会	事務局第3会議室	①大学運営に係る現状報告について ②各同窓会からの要望等について
H22/8/10(火)	第12回同窓会連合会幹事会	事務局第2会議室	同窓会連合会総会（第5回）について
H22/10/2(土)	第13回同窓会連合会幹事会	茨苑会館集会室	①平成21年度事業及び会計報告について ②平成22年度事業計画及び予算について

平成21年度茨城大学同窓会連合会収支決算書（H21.10.1～H22.9.30）

収 入				支 出			
事 項	収入見込額	収入済額	備 考	事 項	支出見込額	支出済額	備 考
1 繰越金	940,242	940,242		1 管理費			
2 会 費	250,000	250,000	同窓会連合会会費 （@5万円×5学部同窓会）	(1) 通信費	20,000	5,750	郵送切手代等
3 事業費	50,000	108,000	同窓会連合会第4回懇親会費 （@3,000円×36名）	(2) 印刷費	150,000	115,710	会報（第4号）5,500部
4 預金利息	1,000	305		(3) 事務費	50,000	0	同窓会封筒作成、HP管理運営費等
合 計	1,241,242	1,298,547		2 事業費			
				(1) 会議費	50,000	117,000	第4回懇親会経費
				(2) 交際費	50,000	39,930	茨大役員との懇談会経費
				3 予備費	819,565	10,000	茨城県庁同窓会平成22年度総会経費
				合 計	1,139,565	288,390	

差引残額 [収入]1,298,547円-[支出]288,390円=[残額]1,010,157円（平成22年度へ繰越）

平成22年度茨城大学同窓会連合会事業計画

年月日	事業項目	開催場所等	内 容
H22/10/2(土)	第5回同窓会連合会総会	茨苑会館	
H22/12/3(金)	第14回同窓会連合会幹事会	事務局第2会議室	①会報（第5号）の発行について ②同窓会連合会第5回総会報告について
H23/3/	同窓会連合会会報「第5号」発行	事務局（総務課）	5,500部
H23/6/	第15回同窓会連合会幹事会	事務局第2会議室	同窓会連合会事業活動について
H23/6/	茨城大学役員と同窓会連合会との懇談会	事務局第3会議室	①大学運営に係る現状報告について ②各同窓会からの要望等について
H23/8/	第16回同窓会連合会幹事会	事務局第2会議室	同窓会連合会総会（第6回）について
H23/10/	第17回同窓会連合会幹事会	茨苑会館	①平成22年度事業及び会計報告について ②平成23年度事業計画及び予算について

平成22年度茨城大学同窓会連合会予算（H22.10.1～H23.9.30）

収 入				支 出			
事 項	21年度決算額	22年度予算額	備 考	事 項	21年度決算額	22年度予算額	備 考
1 前年度繰越金	940,242	1,010,157		1 管理費			
2 会 費 等	250,000	250,000	同窓会連合会会費 （@5万円×5学部同窓会）	(1) 通信費	5,750	20,000	郵送代等
3 事業費	108,000	120,000	同窓会連合会懇親会費 （@3千円×40名）	(2) 印刷費	115,710	150,000	会報（第5号）5,500部
4 預金利息	305	400		(3) 事務費	0	50,000	同窓会封筒作成、HP管理運営費等
合 計	1,298,547	1,380,557		2 事業費			
				(1) 会議費	156,930	160,000	懇談会等経費
				(2) 交際費	10,000	50,000	職域同窓会総会等経費
				3 予備費	0	950,557	
				合 計	288,390	1,380,557	

同窓会交流コーナー

学びを与えてくれた連合会に感謝

前茨城大学同窓会連合会会長 堀川 賢壽



このたび、第2代茨城大学同窓会連合会会長の職を無事退任することが出来ました。その間、茨城大学役員、連合会役員、事務局の方々の御支援を賜り本当に有難うございました。また、5学部の会員の皆様の御協力に対し深く感謝いたします。

2年間の任期ではありましたが、私の80年間学び得なかった多くのことを学びました。まずは「感動」です。集団の中における大きな場面展開の感動です。例えば後輩諸君の入学式・卒業式に臨んでの感動です。自分自身の60年前の儀式への臨場感を体験出来たと言う感動です。今までに多種多様な感動場面に接しましたが、これほどまでに私をして全身全

霊をもつての感動は味わえなかったです。実に凄いことを学びました。次は「緊張感」です。普通緊張と言えば、精神・態度・行動などが引き締まることを言いますが、私が学んだ緊張感は次元の異なるものです。加齢のせいかな毎日の生活の総てが弛緩的でだらけ切っていますから、大学における諸行事への代表参加や、学長、学部長先生との直接の会話は雲の上の方だとの思いがあり、恐れ極まった心地よい緊張感に浸ったのです。また、会長という責任の重さからの特別な緊張感もありました。結びの学びは「くつろぎ」です。濃厚な人間関係の構築による絆の取得です。各学部間の意志の疎通に強力な癒しを憶えた懇親会、幹事会、学生の研究発表会等から母校の将来に明るさを感じました。学びは人間一生続くもの。機会を与えてくれた連合会に感謝します。

農学部同窓会の近況報告

農学部同窓会幹事長 中村 豊



茨城大学農学部は平成21年で創立58年を迎え、これまでに学部卒業生及び修士修了生がそれぞれ約6,200名及び1,100名を輩出し、様々な分野で活躍している。この間、同窓会として母校への支援を適宜行っており、例えば本館1階のラウンジやエントランスホールに配置された“陶壁”は、憩いの場におけるアイ・レストの重要性を配慮した当同窓会の企画によるものである。さらに、研究・教育交流支援のための施設として寄贈したゲストハウス（霞光荘）は、そのニーズに応じた利便性・快適性によ

り利用者から好評を得ている。

このたび、太田寛行農学部長が中心となり秋耕祭中（平成22年11月6日）に、第一回目の「茨城大学農学部ホームカミングデー」が開催され、OG・OB（旧教員も含む）の方々が約50名来学された。この企画の目的は、卒業生と在校生の交流を主とするものであるとされ、そのための行事として（1）卒業生の講演会、（2）世代間対話、（3）研究発表、（4）懇親会などが行われた。特に卒業生の講演においては、①「青年海外協力隊に参加して得られたもの—マラウイで過ごした2年間を通して—」—進士真也氏（資源生物科学科、平20卒）、②「私のキャリア—これまでの経験から伝えられること—」—星野由美氏（生物生産学科、平13卒）、③「企業における研究・開発と社会との関わり」—阿部文明氏（農芸化学科、昭60卒）と題する話を聴講することができ、いずれも情熱的で、示唆に富む内容であり、在校生はもとより教職員にとって得るものが大きかったと思われる。今後とも、同窓生・同窓会として母校への物心両面にわたる支援が望まれることは言うまでもない。

学内ニュース

大学から同窓会連合会へ向けて

茨城大学長 池田 幸雄



現在の大学教育は、大きな曲がり角に差し掛かっています。20世紀の日本では「先進国に追いつけ、追い越せ」の時代で、幅の狭い分野を深く教育し、先進国の科学技術を効率良く吸収する事が重要でした。しかしながら、21世紀の日本は、既に先進国の仲間入りを果たしましたので、20世紀型の教育では不十分になりました。

21世紀では、科学技術の発展が著しいのみならず、政治経済も芸術文化も教育研究もまた急激に変化を続けており、世界はまさに「激動の時代」を迎えております。「21世紀型の大学教育」では、「幅の広さと独創性と柔軟性」が必要不可欠であり、大学の教育改革を早急に推進する必要があります。

日本の各大学は21世紀型の大学教育を実現するため、その教育改革を推進する努力を既に開始しつつあります。特に私立大学では、その動きは活発で、積極的に教育改革を推進しております。国立大学は平成16年の「法人化」に馴染むのに手間取り、その改革は遅れておりますが、茨城大学では、その教育改革を開始しており、その成果を第2期中期目標・中期計画期間（平成22～27年度）に挙げたいと考えております。

この教育改革は大規模になりますので、全学教職員の全面的理解が必要不可欠ですが、このような大改革には多くの困難が予想されますので、茨城大学の同窓会連合会の皆様のご理解と叱咤激励が何よりも良薬になるものと考えております。今後とも皆様のご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げる次第でございます。

茨城大学同窓会連合会役員名簿

名誉会長 池田 幸雄 (茨城大学長)
 顧問 田代 尚弘 (茨城大学副学長)
 顧問 神永 文人 (茨城大学副学長)
 会長 久保田 益充 (理学部同窓会会長)
 副会長 野口 芳男 (文理・人文学部同窓会会長)
 副会長 堀川 賢壽 (教育学部同窓会会長)
 副会長 木曾 正明 (多賀工業会会長)

副会長 赤塚 尹巳 (農学部同窓会会長)
 代表幹事 佐久間 隆 (理学部同窓会常任幹事)
 幹事 糟谷 政和 (文理・人文学部同窓会幹事長)
 幹事 佐藤 瑛一 (教育学部同窓会幹事長)
 幹事 山村 靖夫 (理学部同窓会常任幹事)
 幹事 小林 正典 (多賀工業会幹事長)
 幹事 中村 豊 (農学部同窓会幹事長)
 会計監事 金子 一夫 (教育学部同窓会幹事)
 会計監事 杉田 龍二 (多賀工業会理事)

編集後記

連合会が発足して5年目。今年度より理学部卒業生の、久保田同窓会連合会会長となりました。これまで2年間運営にあたられました、教育学部の堀川会長また佐藤代表幹事には、厚くお礼申し上げます。

3月11日の東日本大震災の影響で、例年に比べて同窓会連合会会報の発行が遅れました。

また、本学においても、入学式の中止及び学年暦の変更（授業開始時期等の組換）など大きな影響がでています。

茨城大学同窓会連合会のホームページが開設されています。

<http://www.ibaraki.ac.jp> > 総合案内 > 同窓会 から、ぜひアクセスしてください。

(平成23年5月 代表幹事 佐久間 隆)

茨城大学同窓会連合会事務局
 (事務局総務課内)

〒310-8512 水戸市文京2-1-1
 電話：029-228-8007 FAX：029-228-8019

茨城大学HP

<http://www.ibaraki.ac.jp/>

茨城大学同窓会連合会HP

<http://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/alumnus/union/>

